

富山聾史研究グループ結成5周年記念

「内田博幸氏の講演会」

平成21年1月31日(土)

(富山県聴覚障害者センター)



富山聾史研究グループ代表の橋勇一さん



内田博幸さんの記念講演会

— ご 祝 辞 —

「富山聾史研究グループ結成5周年記念」を迎えられ、誠におめでとうございます。

既に富山県の聾歴史とは「日本初のろうあ校長・松村精一郎先生」と富山盲啞学校などの歴史を勉強させて頂き、大変素晴らしい“富山聾史”を知ることができました。

富山聾史研究グループが益々ご発展されますよう心からご祈念申し上げ、お祝のことばとさせていただきます。

信濃聾史研究クラブ代表：内田博幸

マジ?! ろうあ者校長は4人いた!

■富山聾史研究グループ結成5周年記念講演会



1月31日(土)午後2時から、富山聾史研究グループ結成5周年記念として講演会が開かれました、信濃聾史研究クラブ代表の内田博幸氏に「私立松本聾哑学校初代校長 小岩井是非雄氏の生涯」のテーマで講演していただきました。一般の歴史愛好家といった多種多様な聴講者が参加しました。講師は、昭和時代、小岩井氏の手で作られた掛け図や絵図をはじめ、さまざまな貴重な図を紹介しながら、盛り沢山の資料をスクリーンに映し出し、岩手大学農学部や地元長野県内の発掘調査の成果などを、初めて聴く人にもわかりやすく解説していただきました。参加者から「なかなか見られない掛け図や絵が見られてよかった」、「すごいですねー!聾哑者校長!」などの声があがり、主催者側としても嬉しかった。やはり、聾哑者のアイデンティティを明確するためには、まず聾哑者の偉人の歴史をもっと学んで欲しいと思います。21年度にも第4弾企画を進めておりますので、多くの参加をお待ちいたします。

■参加者の感想■
私は、初めて『聾史』の講演会に参加しました。私が生まれる前、明治時代以降、ろうあ者の校長先生が何人かいると初めて知りました。松本ろう学校の正門にろうあ者校長のプロンス像が立っていると聞いて感心しました。少しずつ聾史の勉強が出来て良かったです。また参加してみたいと思います。
(Kittyちゃん:女性)

※お知らせ：1月31日当日、富山聾史研究グループ記念誌(500円)が発行されました。購入ご希望の方は、益塚事務局長に申し込んでください。

■富山県聴覚障害者協会・機関紙『富山ろう友』NO.344(2009年3月)

聾史会報 第24号

日本聾史学会 シンボルマーク決まる

応募のあったシンボルマーク作品2件は残念ながら不採用になりましたが、審もが足すべくわかるような、聾史にふさわしいシンボルマークであるを基に、両方を修正を重ねながら作成しました。その結果、2月21日の運営委員会決定になり、ここで発表します。
決定理由は次の通りです。

- 1) マークはろうあ者であることを手話で表している。
- 2) その表現は日本だけだから、「日本」をも表しています。
- 3) 手話は歴史そのものを表している。

4) 「人々」の意味も表してあり、集うこと・話し合うこと・学ぶことの意味。
5) 未来志向の4本の土向きの指と研究する6本の握り指。
6) 二つの手は、背で知恵を出し合い、力を合わせる・手をつなぐの意味。
7) 赤は情熱を表している。
※カラー表示は当会HPをご覧ください。

・その他
会議の途中、福時から実行委員会3名が加わり、福岡大会の内容、企画についてを夜まで協議しました。
又、6月開催の全国ろうあ大会「聴覚障害者切手展」で担当の伊藤久氏(東京聴覚障害者推進文化聴覚障害者切手クラブ)から会員皆様の手元に聴覚関係の切手や過去有名人の文庫(千紙・ハガキ)があったら展示出品に協力してほしいという願いがありました。

全国各聾史研究団体の便り

富山聾史研究グループ結成5周年記念講演会
マジ?! ろうあ校長は4人いた!
『私立松本聾哑学校初代校長小岩井是非雄先生の生涯』
(富山聾史研究グループ)
1月31日(土)午後2時から富山聾史研究グループ結成5周年記念として講演会が開かれました。信濃聾史研究クラブ代表の内田博幸氏が「ろうあ者校長小岩井是非雄氏の生涯」を講演しました。会場には歴史愛好家や一般の色んな方が訪れました。内田氏は昭和時代、小岩井氏手作りの掛け図はじめ絵図や貴重な図像など、盛り込んだ資料をスクリーンに映し出して紹介しました。岩手大学農学部や長野県内の掘り起こし調査の様子を、初めての人にもわかりやすく解説していただきました。参加者から「仲々見られない掛け図や絵が見られてよかった」「聾哑の校長はすごいですね」と声が聞かれて、主催者は大変嬉しくなりました。やはり聾者のアイデンティティを確立するためには、皆さんが聾者の偉人の歴史をもっと学んで欲しいと思います。

今年も第4弾企画を進めておりますので、多くの参加をお待ちいたします。

■参加者の感想 (Kittyちゃん:女性)
私は初めて『聾史』の講演会に参加しました。私が生まれる前、明治時代以降のろうあ校長が何人かいた事を初めて知りました。松本ろう学校の正門にろうあ者校長のプロンス像を建てたのは素晴らしいと感じました。少しずつ聾史の勉強ができて良かったです。また参加してみたいと思います。

講演メンバーの内田氏(聴覚の言葉) 聴覚者講師と通じた小岩井氏(印象)が挨拶をする 結成5周年記念講演 年内からの参加者人数は250名近く 参加者が真剣に学ぶ様子 記念誌(500円)と内田氏 大塚から参席した渡辺さんが当賞品を受ける

当日に富山聾史研究グループ記念誌(500円)が発行されました。購入ご希望の方は益塚事務局長(fax 0766-56-4180)へお申し込みください。

■日本聾史学会『聾史会報』第24号(2009年4月)